

アジア研究会 4月定例会

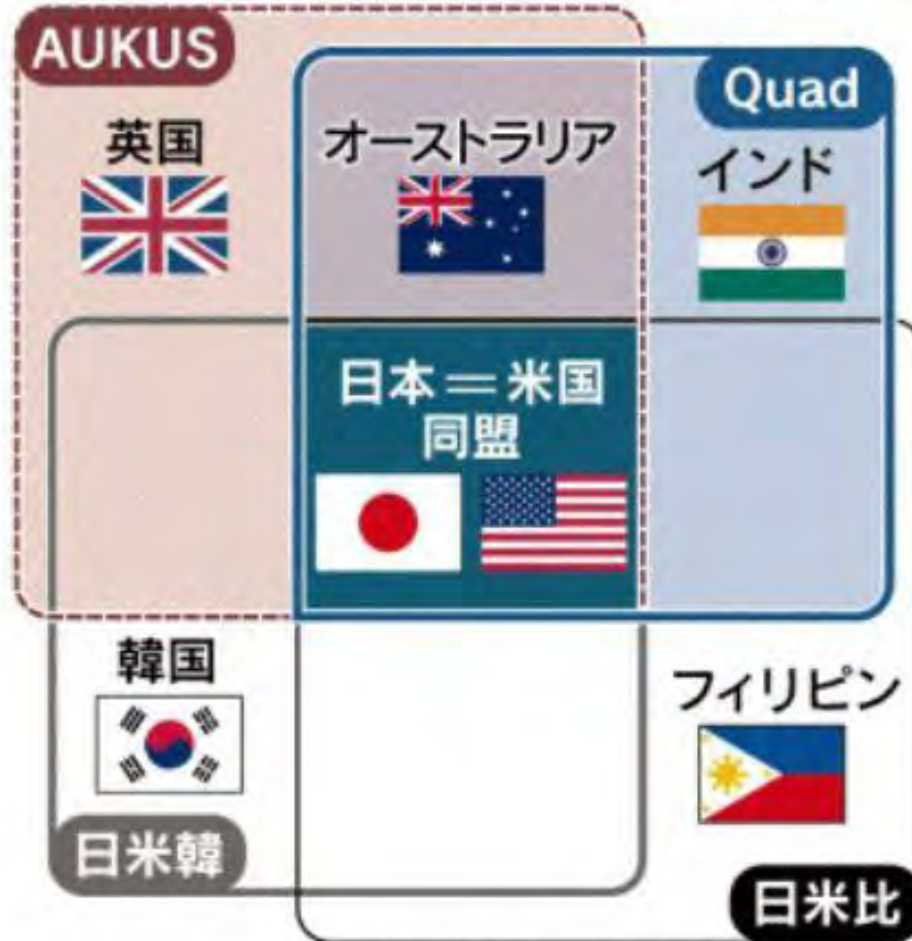
最近の世界情勢について

～情報交換 & 問題提起～

2024年4月17日

玉上佳彦

日米を軸に広がる安全保障の枠組み

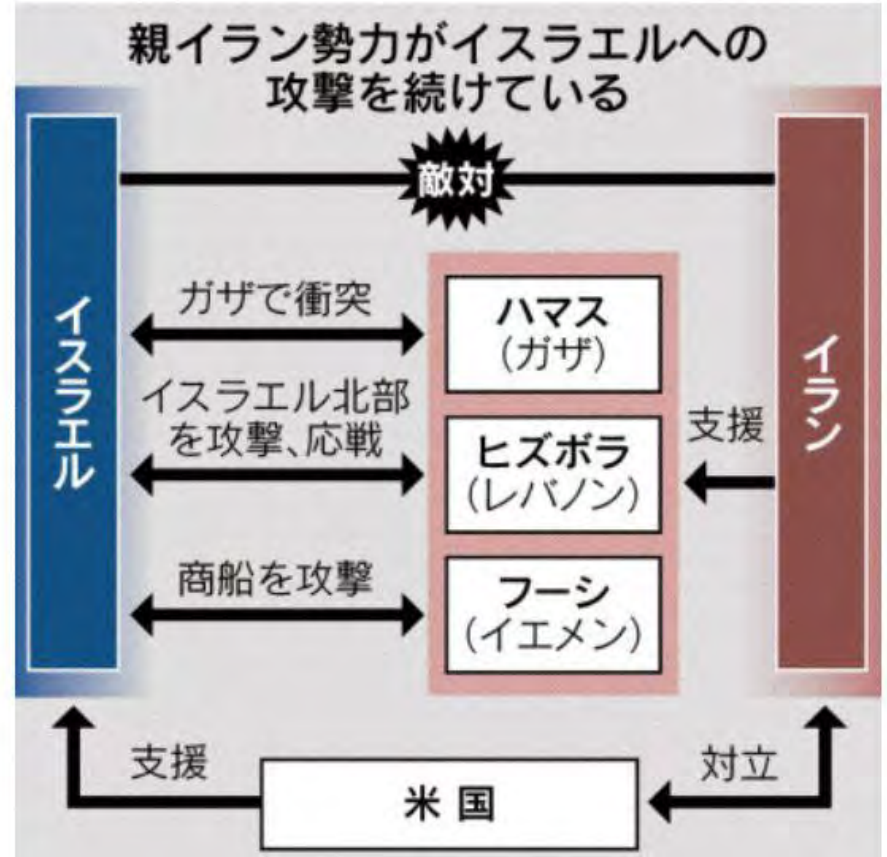
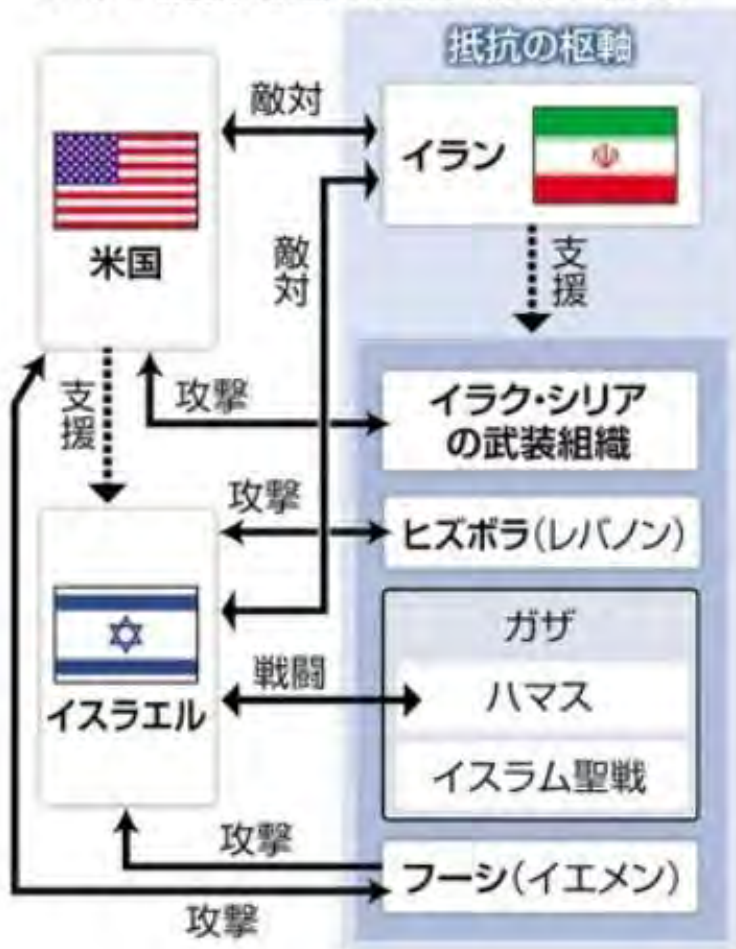


(注) 日本はAUKUSに協力へ

(日経240411)

中東情勢

● ガザ情勢を巡る各国・勢力の関係



(日経240411)



(読売240416)

イランとイスラエルには長い対立の歴史がある

1979年	イラン革命。イスラム教を国教とし、宗教指導体制が発足。反イスラエル掲げる
2002	イランの核開発疑惑が浮上
15	米英など6カ国とイランが核合意
18	核合意から米国が離脱
23	ハマスがイスラエルを急襲。親イラン組織によるイスラエル攻撃が目立つように
24年 4月1日	在シリア・イラン大使館にイスラエルによるとみられる攻撃
13日	イランがイスラエルを初めて直接攻撃

世界各国の諸問題①

- ・ アメリカ：国際的力の弱体化 バイデン VS トランプ
- ・ 日米蜜月関係は大丈夫か 防衛協力 もしトラでどうする
- ・ ロシア VS ウクライナ、NATO
- ・ 中国経済の低迷
 - 一帯一路路線はどうなる
 - 原発処理水 水産物輸入禁止
 - 台湾有事
- ・ 日本 岸田政権 自民党の裏金問題
 - 次期岸田政権は

世界各国の諸問題②

- ・ 韓国選挙結果 尹政権vs野党
- ・ ミャンマー国軍 VS 少数民族 麻薬ビジネス
- ・ メキシコ VS エクアドル
- ・ イスラエル VS パレスチナ、イラン、中東諸国
- ・ 民主主義国家 VS 覇権主義国家
- ・ 民主主義国家の分断

ウクライナ、トランプ、米中対立…企業はどう立ち向かう

Weekly
Toyo Keizai

週刊 **東洋経済**

2024
4/20
特別定価900円

わかる! 地政学



**国際情勢の
解像度が上がる**

第2特集
ドラッグ
ストア動乱

地政学の基礎
地政学を知れば
世界がわかる

地政学リスクと日本企業
「もしトラ」で
北米市場はどう変わる

半導体の地政学
国費投入競争
の実相

(出所)東洋経済作成

エネルギー不足

環境政策をめぐる
EU内での対立

NATOの
加盟国拡大

ウクライナ戦争

イランと
米国との対立

イスラエルと
アラブ世界との紛争

食料危機

イスラエルによる
ガザ地区への侵攻

アフリカ諸国の
政情不安

難民の大量発生

希少資源をめぐる
大国間の争い

西側と新絶する
ロシア・プーチン政権

米国との対立、独裁色を
強める中国・習政権

中印国境紛争

台湾有事

グローバルサウスの
覇主としての
インド台頭

北極海航路をめぐる
権益争い

北朝鮮による
核・ミサイル

中国の海洋進出

島嶼国をめぐる
米中の対立

共和党と民主党
の対立

米国社会の分断

中南米からの
不法移民

ベネズエラの
政情不安

南米経済の不振

世界の 地政学リスク 国際情勢は 不安定化が加速

予想されるトランプの外交政策





高い支持を得て大統領選に勝利したプーチン大統領

POINT

- 1** プーチンのロシアは少なくともあと6年間は続く
- 2** 現在の紛争地は露土戦争でロシアが獲得した土地
- 3** 勢力境界が近づいてくるというロシアの焦り

ロシアを取り巻く地政学的空間 — 3つの空間でロシアは勝利してきた —



(出所) 筆者作成

南シナ海で6カ国・地域が領有権を主張する海域



ウクライナ侵攻開始後、インドと会談した 主な国の関係と狙い (写真はAP、新華社AP)



ロシア軍が進軍した地域

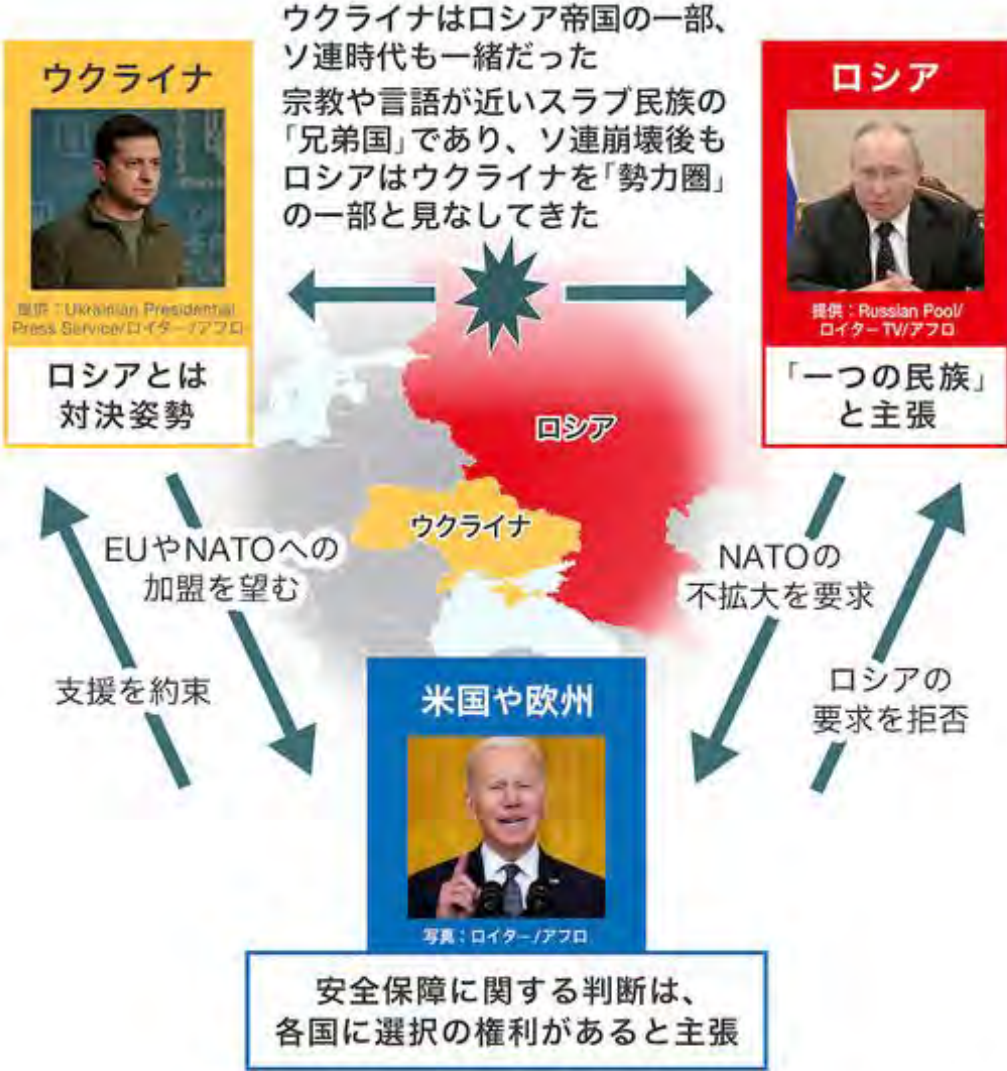


※米政策研究機関「戦争研究所」などによる

北朝鮮と日米韓



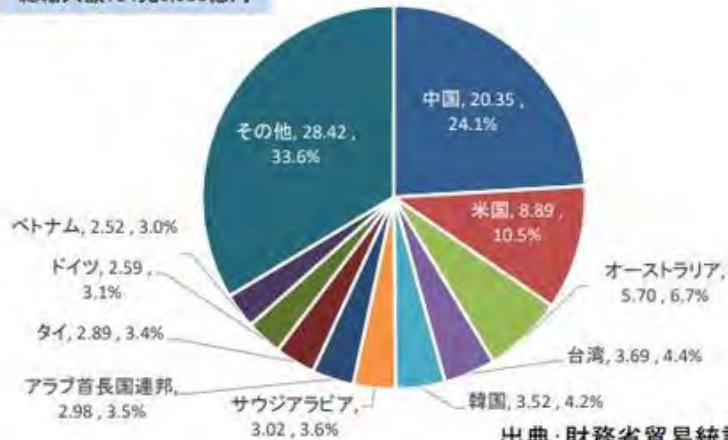
ウクライナ・ロシア・米欧の関係



日本と米国の貿易相手国

日本の輸入(2021年、金額ベース)

総輸入額: 84兆5,688億円



日本の輸出(2021年、金額ベース)

総輸出額: 83兆9,299億円



出典: 財務省貿易統計(単位: 1兆円, 年データ)

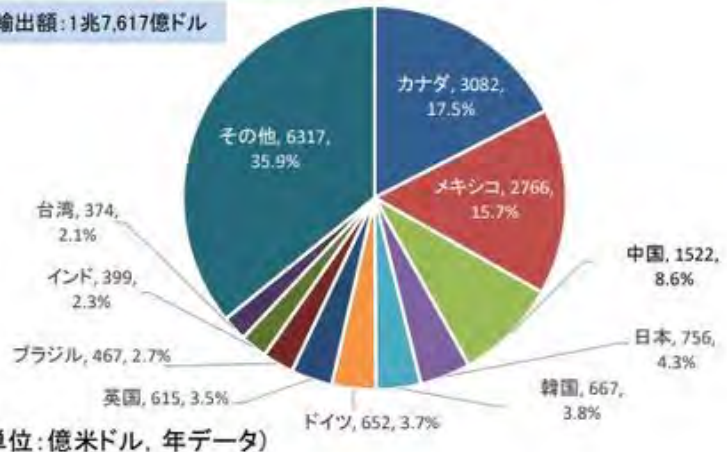
米国の輸入(2021年、金額ベース)

総輸入額: 2兆8,531億ドル



米国の輸出(2021年、金額ベース)

総輸出額: 1兆7,617億ドル



出典: 米国商務省経済分析局(単位: 億米ドル, 年データ)